

新型コロナウイルス感染症の診療における個人防護具（PPE）の使い方

2020年9月9日

令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金

（厚生労働科学特別研究事業）

「新型コロナウイルス感染症に対する院内および施設内感染対策の確立に向けた研究」

2020年9月9日現在までに得られた知見に基づき、使用が推奨される個人防護具（PPE）の種類および使用の際の原則について説明する。

○ PPE 使用における原則

- ・ 新型コロナウイルス感染症に対しては、原則として、接触予防策と飛沫予防策に準じた PPE を選択する。

補足 1) ガウンが欠品する場合は、エプロンとプラスチック製アームカバーの併用を検討する。

補足 2) タイベック®などの全身防護具は、感染対策上は不要であること、着脱時の感染防御に対する訓練が必要なこと、脱衣手順に習熟しない場合は曝露が生じる恐れがあることなどから、ガウンが不足する際を除き使用しない。

補足 3) シューカバーや長靴をルーティンに使用する必要はない。

○ 外来診療における PPE

<無症状者の問診>

- ・ サージカルマスク

補足 1) 患者がサージカルマスクを着用していない場合、医療従事者は眼の防護具（ゴーグルまたはフェイスシールド）を併用する。

<発熱等の有症状者の問診>

- ・ サージカルマスク
- ・ 手袋

補足 1) 患者がサージカルマスクを着用していない場合、医療従事者は眼の防護具（ゴーグルまたはフェイスシールド）を併用する。

補足 2) 体液等で身体の汚染が想定される場合は、ガウンを併用する。

補足 3) キャップ、N95 マスクの装着は不要である。

<検体採取：患者自身で唾液検体を採取する場合>

- ・ サージカルマスク

- ・ 手袋

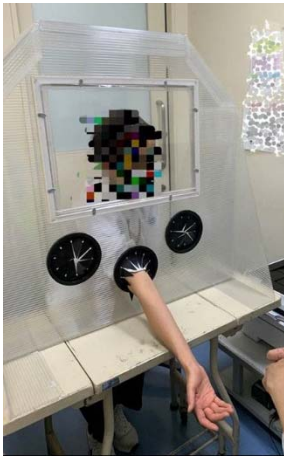
<検体採取：鼻咽頭から検体を採取する場合>

- ・ サージカルマスク
- ・ 眼の防護具（ゴーグルまたはフェイスシールド）
- ・ ガウン
- ・ 手袋

補足 1) キャップを併用することが望ましい。

補足 2) パーテーション（図）を使う場合は、サージカルマスクと手袋のみ使用する。

図 検体採取用パーテーションの例



<検体採取：喀痰を吸引で採取する場合>

- ・ N95 マスク
- ・ 眼の防護具（ゴーグルまたはフェイスシールド）
- ・ ガウン
- ・ 手袋

補足 1) キャップを併用することが望ましい。

<エアロゾル産生手技（表 1）実施時>

- ・ N95 マスク
- ・ 眼の防護具（ゴーグルまたはフェイスシールド）
- ・ ガウン
- ・ 手袋

補足 1) キャップを併用することが望ましい。

表1 エアロゾル産生手技の例

- ・ 開放式気管吸引
- ・ 喀痰誘発
- ・ 心肺蘇生
- ・ 気管挿管・抜管
- ・ 非侵襲的換気療法
- ・ 気管支鏡
- ・ 用手換気

<その他の手技の実施時>

標準予防策に基づき、想定される血液・体液曝露に応じた個人防護具を選択する。例えば、無症状者の問診に引き続き採血を行う場合は、手指の血液汚染が想定されるため、手袋を装着する。また、手術や処置等の際に血液・体液が落下し、履物の汚染が想定される場合は、シューズカバーを装着する。

以上